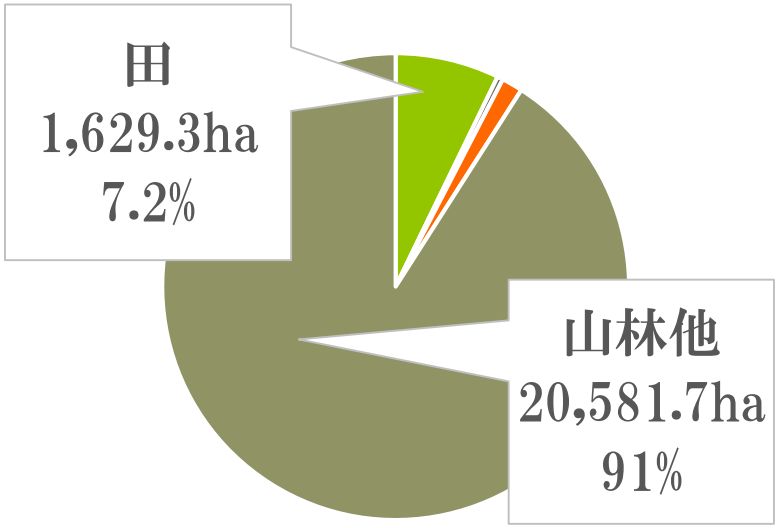
# 鳥獣被害対策の取組み
## ～鳥獣に強い安心な町づくりを目指して～

**朝日町有害鳥獣対策協議会**

**（富山県）**

# 朝日町の概要



## 朝日町の特産品

# 鳥獣による農作物被害の歴史

昭和50(1975)年代～

ニホンザルにより自家畑の作物が荒らされる。

猟友会にお願いし、加害個体の捕獲を始める。

昭和60(1985)年代～

ニホンザルに加え、カラスによる田植え後の苗の踏み荒らしが散見されるようになる。猟友会にお願いし、カラス捕獲を開始する。

平成18(2006)年頃～

イノシシによる掘り起し、水田内の踏み倒しが発生するようになる。

猟友会にお願いし、捕獲を開始する。

※その他、ドングリのなりが悪い年にはクマの出没も多く、過去には人身被害が出たこともあった。

※鳥獣被害対策は個体数調整がメインであり、その大部分を猟友会による銃での捕獲に頼っていた。

# 鳥獣被害対策に対するそれぞれの思い

| 住民（農家）の思い | 猟友会の思い |
| --- | --- |
| ・猟友会は鳥獣を撃ちたい集団だろう。<br>・有害鳥獣の捕獲は猟友会が行うもの。<br>・町（行政）は田んぼや畑に出てきた鳥獣の対策を行うのが当たり前<br>・猟友会と行政が田んぼや畑を守ってくれるのが当たり前だから、我々は田んぼや畑を作っているだけでよい。 | ・猟友会は狩猟を楽しむ団体であって、有害鳥獣対策のために個人の経費をかけて銃を所持しているわけではない。<br>・もちろん、町（行政）の機関じゃない。<br>・地元の住民が農作物被害で困っているというから協力している。<br>・現場に到着しても「遅い！」と怒鳴られ、嫌な気分になる |

# 住民（農家）の意識改革

**「自分たちの農地は自分たちで守ろう！」を原則として、自治振興会や各町内会、生産組合長さんの会合等の場で説明会を開催してきました。**

| 町からの質問 | 住民（農家）さんの答え |
|---|---|
| Ｑサルやイノシシに作物を荒らされて悔しくないですか？ | Ａ悔しい。町や猟友会が何もしてくれないからいいようにやられている。 |
| Ｑ作物が収穫できたら、どうされるんですか？ | Ａ売るか、食べるかに決まっている。 |
| Ｑ町はいいですけど、猟友会さんに何か渡してますか？ | Ａ・・・（渡してない） |
| Ｑ農地の対策やってみませんか？ | Ａそんな大がかりなことはできない |
| Ｑひとりじゃなくて、みんなでやるんですよ。 | **Ａじゃあ、やってみるか** |

**山沿い全６地区に協議会が発足**

**山崎地区有害鳥獣対策協議会**

# 朝日町有害鳥獣対策協議会の設立

朝日町有害鳥獣対策協議会

鳥獣被害対策の方法や課題について地区有害鳥獣対策協議会と話し合い。

自分たちでもできる鳥獣被害対策について紹介することで、地域住民のやる気に火がついた。

先進地視察

鳥獣から農地を守る方法を勉強。

防御と個体数調整の両面から農地を守る方法を学んだ。

# 有害鳥獣対策に係る各種団体の構成員とその役割

| | 組織及び目的 | 構成員 | 組織の役割 |
|---|---|---|---|
| 防御 | **朝日町有害鳥獣対策協議会**<br>・被害状況情報の共有<br>・被害防除方法情報の共有 | 自治振興会連絡協議会<br>県・町<br>その他関係団体<br>（JA　共済　他）<br>鳥獣被害対策実施隊 | 耐雪型侵入防止柵設置<br>国・県・町等からの補助受入<br>補助の地区協議会への配分<br>その他目的遂行に必要な事項 |
| | 地区有害鳥獣対策協議会<br>（全６地区） | 各地区在住者<br>（自治振興会・町内会） | 電気柵の修繕・維持管理<br>被害防除の実施 |

# 鳥獣害対策
# ①集落環境管理

農地や人家に近い山際の雑草地等の草刈り、除伐を行う。

鳥獣が侵入しにくい環境を作る。

かるさる大作戦

（山崎地区）